

# DALIMO

SALVADOR DALI + MOROHASHI MUSEUM OF MODERN ART

密を見つめて、クルックを読み解く。



密。その1

クルックと  
諸橋近代美術館

イギリスの現代芸術家PJクルック（1945年～）の作品は、サルバドール・ダリに次ぐ諸橋近代美術館のメインコレクションです。当館とPJクルックとの出会いのきっかけは、他でもなく創設者でありコレクターの諸橋廷蔵（1932～2003年）でした。1995年、諸橋はたまたまパリのポンピドゥーセンターのそばにあるアラン・ブロンデル・ギャラリーで開催されていたクルックの個展を訪れ、たちまちにクルックの作品に魅了されました。滞在中に何度もギャラリーを訪れ、最終的にそこにあった作品すべてを購入したのです。そこからクルックと諸橋の関係は生まれました。本作は2001年の制作後、諸橋が亡くなったことを受けてクルックが2003年に追悼文を加筆したものです。そこにはこう記されています。

諸橋廷蔵氏の人生と業績を称え、彼への追悼として（この作品を）贈る。－ PJ Crook

# 作品を旅しよう! おうちでパリ旅行



諸橋近代美術館のコレクションを“アートDJモロビ”がナビゲートします。  
パリにまつわる作品にフォーカスし、華やかなパリに潜む当時の人々の暮らしを紐解きます。ゆっくりじっくり作品の世界を旅しましょう！

※下記4作品は現時点で展示の予定はありません。

※ぜひ、QRコードからDJモロビの音声ナビゲートも一緒に楽しみください。

ピエール＝オーギュスト・ルノワール  
(1841–1919)  
『パリ郊外、セーヌ河の洗濯船』  
1872–1873



これがあのルノワール!?  
当時のパリの日常とは…

印象派を代表する画家ルノワールといえば、鮮やかな色に柔らかな女性像といった作品が特徴的です。ではこの作品はどうでしょう？私たちがイメージするルノワールの作品とは少し違った印象を受けるかもしれません。タイトルにもある「洗濯船」は河岸に停泊している屋根のついた船のことです。現代で言ういわばコインランドリーのようなもので、パリでは馴染み深い存在でした。20世紀に入り上下水道が完備されるようになると洗濯船の人気は徐々に衰えていき、やがてその姿を消してしまった。しかし、パリの人々にとって洗濯船が身近な存在だったことは確かです。パリ郊外に住む人々の何気ない日常の一瞬を、ルノワールはキャンバスに描き出したのでした。

マクシミリアン・リュス  
(1858–1941)  
『洗濯する女』  
制作年不詳



都市の近代化に潜む光と影

印象派の後に登場した新印象派の画家たちと交流していたリュスはパリの情景を多く描いており、新印象派の中で最も多くのパリの風景を描いたとも言われています。とりわけ人物画においては労働者へ強い関心を向けており、本作からも働く女性の日常の姿をよく観察し、的確に捉えていることがわかります。この頃パリでは「パリ大改造」と呼ばれる大規模な都市計画が進み、人々は変貌してゆくパリの中で日常を送っていました。一見すると地味なテーマに見えますが、描かれた当時の背景のはどちらかといふと伝統的な水浴画のように見えますが、ナビ派の特徴に見られる装飾的な造形表現を重要視していることがわかります。

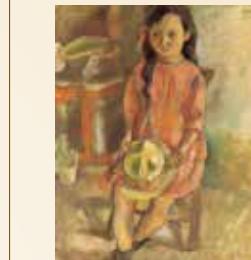
ピエール・ボナール  
(1867–1947)  
『水浴する女たちのいる森の風景』  
1899



パリの公衆衛生と入浴指南

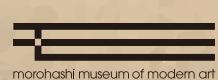
近代化してゆく都市の影の一つが公衆衛生上の問題です。当時のパリは急激な都市整備や産業発展が原因でコレラや腸チフスなどの伝染病が流行しました。これにより人々の間では公衆衛生の关心が高まり、感染症にからならないための対策として身体衛生に対する気配り、入浴の指南もあったとされています。このような入浴に関する当時の社会背景は、西洋絵画史における水浴画の変遷に大きく関わっており、伝統的な主題から近代的な描写への成立をうかがい知ることができます。

ジュール・バスキン  
(1885–1930)  
『帽子を持つ少女』  
1924



別名、モンパルナスの王子！

激動の19世紀を越え、20世紀初頭のパリには「エコール・ド・パリ」と称される国内外あらゆる地域から集結した様々な画家が自由奔放な生活を送っていました。「モンパルナスの王子」とバスキンもまた、その美しい容姿と華やかな浪費生活を送りながら制作活動をしていました。この作品が描かれた時期、震えるような線描と淡い色彩、柔らかなタッチが特徴の「真珠母色の時代（レザネ・ナクレ）」と呼ばれる作風を確立し、官能的な裸婦から憂いを帯びた少女といった独特な雰囲気をまとった女性をよく描いています。柔らかな色と自然な印象とともにどこか退廃的で孤独と倦怠感を感じられることから、放蕩と喧騒の陰に抱いていた画家の内なる感情が映し出されていることがうかがえます。



諸橋近代美術館

〒969-2701 福島県北塙原村桧原字剣ヶ峯1093番23  
TEL. 0241-37-1088 URL. <https://dali.jp>

2021年11月8日(月)–2022年4月下旬まで冬期休館 ※次回の展覧会や開館情報はホームページにて随時更新していきます。

## 密。その2

# クルックと2.5次元



《紙帽子》1995年  
※下は別アングルから撮影



《ステッピング・アウト》2017年

グロースターシャーカレッジに進学し、織物と染色を専攻したクルックですが、実は絵画と彫刻の両方に興味を持っていたそうです。しかし当時はどちらか一方を学ぶことが主流だったので両方を学ぶことは叶いませんでした。クルックの作品には《紙帽子》のようにカンヴァスそれ自体の表面が波を打つような作品や《ステッピング・アウト》のように描いた靴と本物の靴が混在する、二次元から三次元へと広がりを見せる作品があります。クルックは、学生時代の思いを作品の中で叶えたのでした。

## 密。その5

# クルックと夜



《野うさぎ》2015年

画業以外に複数の慈善団体に所属し、社会貢献を試みるクルックの生活は多忙を極めています。そのため作品を制作するのは早朝から深夜に及ぶことがほとんどです。クルックが描く動物たちは、幻想的な田園風景の中で月光に照らしだされ生き生きとしています。昼間は忙しく働き、夜になると筆を握り本業に取りかかるという、自らの姿を投影していたのかもしれません。

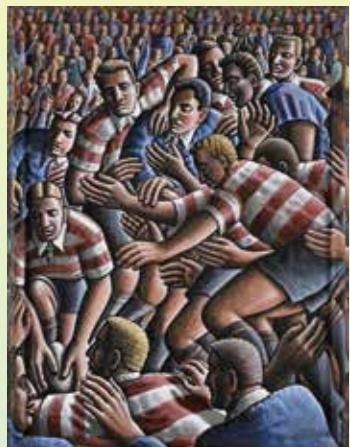


私にとってアーティストであることは人生そのもの。子育てをしながらも、作品を作らねばと強く感じていた。人生そのものがアーティストであり、常に表現したいという思いがある。— PJ Crook

## 密。その3

# クルックと群衆

ラグビーのスクラムや駅のラッシュアワー・・・記号のように連続して描かれる人々の姿が、妙な非現実感を作り出しています。群衆が生み出すエネルギーは、小柄なクルックにとって魅了される対象であり、同時に、恐怖を感じさせるものでもありました。クルックは群衆を描くことで、彼らやそこに流れる時間を支配し、同時に喜びを感じているのです。



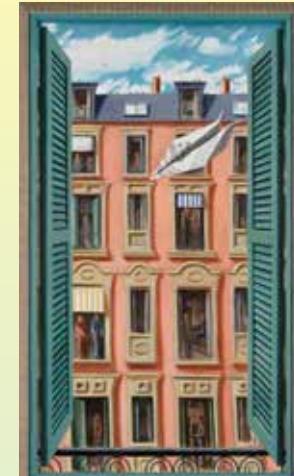
《チェリー アンド ホワイト》1994年



《都会》1993年



《通りに面した窓》1995年



《窓》1995年

クルックは学生時代、休日になると、窓掃除の仕事をしていた父親の手伝いをすることがありました。その度に「窓の外側から中を覗き見たい」と思っていたそうです。世界の一部を切り取るという点において窓と額縁はよく似ています。そこから見える街や人を観察し、描きとめた場面から広がっていく物語を想像することを楽しんでいたようです。

# クルックと○○の秘密の関係、深い絆



《夢》1995年



《フード オン ザ ストリート》1995年

新聞紙はクルックの作品に頻繁に登場します。「読み物」として情報を得るためのツールであるはずの新聞は、その役目を終えるとあっという間に捨てられ、リサイクルされます。時には、路上生活を余儀なくされる人たちの布団にもなり、またある時は、イギリスのソウルフードであるフィッシュ&チップスの包み紙にもなります。クルックは「今日のニュースが明日の歴史になることも面白い」と語っています。日々変わっていく社会のありさまを伝えながら、それ自体の価値すら変わっていく新聞の姿に、「変容」を当てはめているのでしょうか。

## 密。その6

# クルックと新聞紙



《グリーンドア》1995年



《レッドドア》1995年

額縁の凹凸を扉の縁に見立てるだまし絵風の《グリーンドア》《レッドドア》をご覧ください。絵画を保護する役割を持つ額にまで描き込まれています。これが、クルック作品の大きな特徴です。作品を守る囲いはクルックに恩苦しさを感じさせるものでした。その締め付けから逃れるようにカンヴァスを超えて額の上にも描き、作品として成立させたのです。

## コレクションテーマ展

# ステッピング・アウト

# 日常の足跡

2021年7月13日火～11月7日日

※会期中無休  
開館時間：9:30～17:00（最終入館は閉館の30分前）

観覧料：一般 1,300円 高校・大学生 500円

中学生以下は無料

本展では、PJ クルックの作品群を通して、2020年以前と現在の生活を比較します。また、サルバドール・ダリの他、シュルレアリズムの作品を中心に、20世紀において日常の転換から生じた精神活動や芸術表現を紹介します。

## 密。その4

# クルックと窓

# クルックと額縁